

—内なる縄文の鼓動を求めて—

ニュー縄文

村上原野展

2014.9.11 / 2014.9.30

▼11 / 2 日

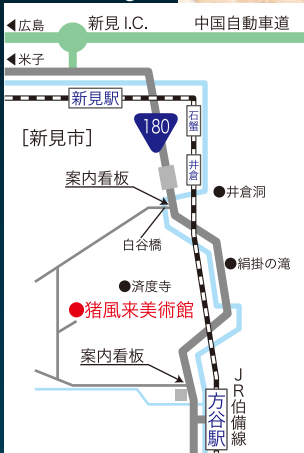
-村上原野-

1987年 北海道の原野に生まれる。札幌市立高等専門学校卒業後、岡山に移住。現在、猪風来に師事し縄文の技法と精神を体得すべく修行中。

村上原野はこれまで縄文土器・土偶の徹底的な模写を通して、宇宙と自然の波動、生と死と再生への畏怖、祈りの世界観が表現された1万年の始原のアート世界にのめり込んできました。縄文の心を追体験する中で彼自身の内なる縄文をつかみ取り、「現代に生きる己の感性」による独自のニュー縄文造形の創作へと至ります。若き縄文アーティストの手からまさに今生まれ出たばかりの作品は、満ち溢れる思いが躍動する力強い生命の文様となって全体を覆いつくしています。3DCG作家の小林武人氏とコラボした精彩な文様の縄文野焼き土器や、法首粘土を穴窯焼成した釉葉の妙と縄文造形が凄み・優しさを醸す陶オブジェなど約30点を展示。どうぞご高覧ください。

写真:廣川慶明

—ひたすら心を沿わせてきた縄文のかたち。いにしえの土器・土偶をなぞり動かしてきた手が、いまようやく自分の奥深くから湧き立ってくるゆらめき、リズムに突き動かされて文様を渦巻かせている。いまここに縄文。奥底に根付くものを、蕾から花開かせどこまでも飛翔させてゆきたい—



猪風来美術館
新見市法首陶芸館

〒719-2552 岡山県新見市法首609
TEL・FAX 0867-75-2444
<http://www.ifurai.jp/>

【開館時間】午前9:30 ~ 午後5:00
【休館日】月曜日(休日の場合その翌日)
【観覧料】一般400円 高校生200円